

令和元年 コミュニティ講習会 地域活動事例

新しい地域コミュニティを育てる

千種区 見付学区



千種区見付学区連絡協議会

千種区見付学区の地域活動をご紹介します。

1 見付学区は、こんなところです。

見付学区の位置

見付学区は千種区でいちばん新しい学区です。



まず見付学区についてご紹介します。

見付学区は、東山小学校の分校だった見付小学校が、昭和57年に独立してスタートした、千種区でいちばん新しい学区です。

場所は、千種区の東南部、東山動物園のすぐ隣りにあり、南側は昭和区と天白区に接しています。

面積は1552平方km、人口は8,483人、世帯数は4,535世帯です。（平成31年4月現在）

1 見付学区は、こんなところです。

見付学区の位置

学区内に名古屋大学があります。



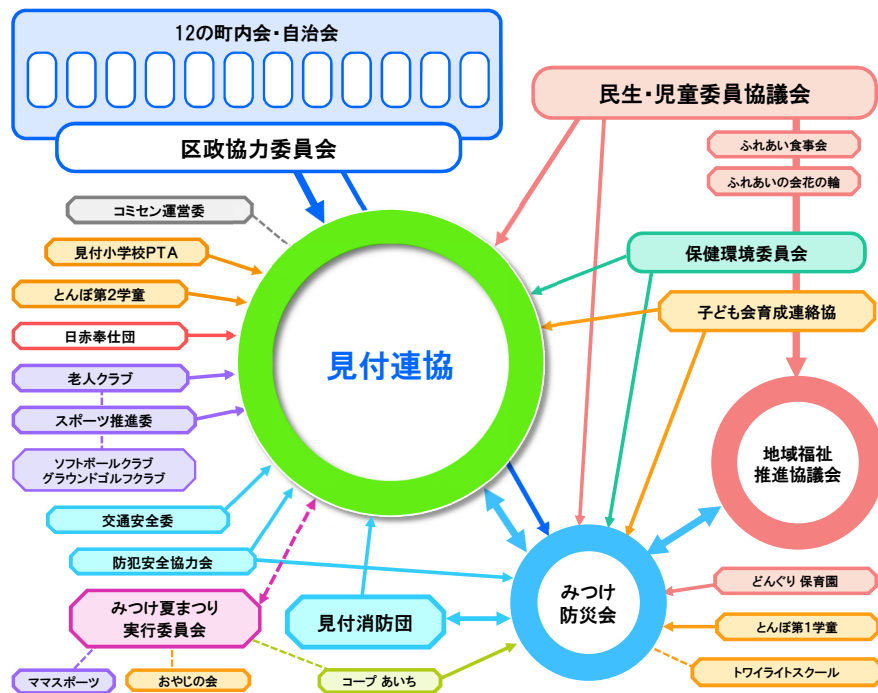
学区内には名古屋大学の広いキャンパスがあり、
学区周辺は一大文教地区になっています。

近年はマンションが次々に建てられ、
若い家族が移り住んで、子供の数も増加しています。

1 見付学区の自治活動

見付学区の自治組織

学区自治の中心は見付連協です。



次に、見付学区の自治活動についてご紹介します。

見付の自治組織には、3つのハブ※があります。

これらのハブには多様な団体が集まって「つながり」が形成されています。

学区の核になるのは見付連協です。学区内には12の町内会・自治会があり、区政協力委員を通じて連協とつながっています。また民生委員、保健環境委員、消防団などのほか、子ども会や老人クラブ、防犯委員、PTAなどの諸団体が連協に参加しており、情報を共有したり、学区活動に協力する体制ができています。

もうひとつの「地域福祉推進協」には、福祉系の団体がつながっています。また「みつけ防災会」には、地域住民や区政協力委員のほか、コープあいちなど学区外を含めた諸団体が参加しています。

※ ハブ：自転車の車輪のスポークが集まる中心リングのこと。つながりの中心軸のたとえ。

2 見付学区の自治活動

主な活動

町内会単位より、学区全体の活動が盛んです。



成人式



敬老会



夏まつり



ふれあい(赤ちゃん)サロン



ふれあいの会「花の輪」



ふれあい食事会

学区の活動内容としては、他学区とそれほど違いはありませんが、町内会・自治会が独自に行う活動は少なく、上掲の組織図で紹介した「ハブへのつながり」を生かした、学区全体での活動が主体となっています。

例えば、連協主催の主な行事は、成人式、夏まつり、敬老会。民児協では、ふれあいサロン（赤ちゃんサロン）、高齢者を招くふれあい食事会、中高年対象のふれあいの会などを開催しています。

2 見付学区の自治活動

諸団体の活動例



そのほか、

防犯・交通安全委員、保健環境委員、子ども会、PTA・おやじの会などの諸団体が独自の活動をしています。

また、小学校が毎年実施する「昔遊びの会」などにも協力しています。

2 見付学区の自治活動

コミュニティ・サポーターの支援でコミセン活性化。

相談内容

コミセンの利用が足りない



コミサポと共に考えた改善策

コミセンまつりを工夫して「知ってもらう」



恒例プログラム



新しい工夫



子ども餅つき



お餅・豚汁の無料サービス



コミセン利用団体の発表会



企画リクエスト

昨年度は、名古屋市のコミュニティ・サポーター制度を利用しました。

相談内容は「見付コミセンの利用率が足りない」こと。

コミセン運営の赤字が学区財政の大きな負担となっています。

コミュニティ・サポーターといっしょに考えた改善策としては、

コミセンまつりを工夫して、

コミセンについてもっと知ってもらうという方法でした。

具体的には・・・

従来は「子ども餅つき」と「お餅と豚汁の無料サービス」だけでしたが、

昨年度からはコミセン利用団体の発表会を組み込みました。

また、来場者からコミセン利用の企画アイデアを募集しました。

問題点 1

学区運営について、誰も知らなかった。



コミュニケーション不足が原因。



とにかく「知ってもらうこと」から始めよう。

以上が学区の概要ですが、

私たちは、見付学区が、いつかは現代にふさわしい地域コミュニティに
「育っていく」ことを願っています。

ただ、そのためには、いくつかの問題を解決していかなければなりません。

ひとつは、見付学区特有の問題です。9年前に新体制がスタートした時、
それまで長い間、学区運営について何も知らされない状態だったために、
まったく手探り状態でのスタートになりました。

以前は「コミュニケーション」が決定的に足らなかったのが原因でした。

この問題を解決するのは、それほど難しくありません。

幅広い住民の方々に、学区の考え方や取組みを広く知らせていく

「コミュニケーション」を実行すればよいのです。

私たちは「とにかく知ってもらうこと」から始めることにしました。

問題点 2

都市の住民は居住地への関心が薄く
地域とは関わりたくない。回覧も読まない。



現代人の意識や関心は多様。



「人それぞれ」を認めることを基本にしよう。

もうひとつは、現代都市共通の問題です。

どの学区でもそうだと思うのですが、現代都市に集まってくる新しい住民たちは、地域とはできるだけ関わりたくないと思っています。
だから、回覧も読んでもらえません。

多くの住民にとって、「地域への協力は時間・労力の負担でしかない」というのが実感でしょう。

これは時代にかかわる問題なので、簡単には解決できません。

では、どうするか？

現代人の意識や関心が多様なことは、まぎれもない現実です。
それなら「人それぞれ」を認めることを基本にしよう、
と私たちは考えることにしました。

地域参加の基本ルール

できることを、できるときに、できるだけ。



地域の役目を「一律平等に」押しつけないこと。

「できない理由」ではなく、
「どこまでなら、できるのか」を表明してもらう。

この考え方にに基づきながら地域参加のハードルを低くするためには、あるシンプルな基本ルールが必要だということに、私たちは気づきました。「できることを、できるときに、できるだけ」です。

最も避けたいのは、地域の役割を「一律平等」に押し付けるやり方です。そして「できない理由」を尋ねないこと。それより「どこまでなら、できるのか」を表明してもらうことが大切です。もしそれで職務量がこなせないなら、人を増やせばよいのです。

連協の会議などでは、「この行事に参加できる人は？」「この仕事をやっていただける方は？」と問いかけて、「この日なら、私が出られます」「ここまでなら、私ができます」と手を挙げてもらうようにしています。もし誰の手も上がらなかったら？その案件はたぶん重要ではないのです。だから協力を断ることになります。

地域参加を促進する方策

住民が自ら「気づき」を得て参加し、
体験を通じて肚に落としてもらう。

1 「気づき」のきっかけづくり**2 子どもから高齢者まで幅広い参加**

基本ルールはこれで良いとして、次には
住民の自発的な地域参加を促すための、具体的な取組みが必要になります。

正論をぶつけて「教化説得」するやり方では、反発や無視を招きます。
そうではなく、住民が自ら「気づき」を得て、催事などに参加してみて、
体験を通じて肚に落としてもらうことが必要だと思います。

私たちが考えた方策は、次の二つです。

1 つめは、「気づき」のきっかけづくり

要するにコミュニケーション活動です。

2 つめは、子どもから高齢者までの幅広い参加

多様な価値観を持つ住民が、幅広く参加できるようにすることです。

では、このあと実例をご紹介します。

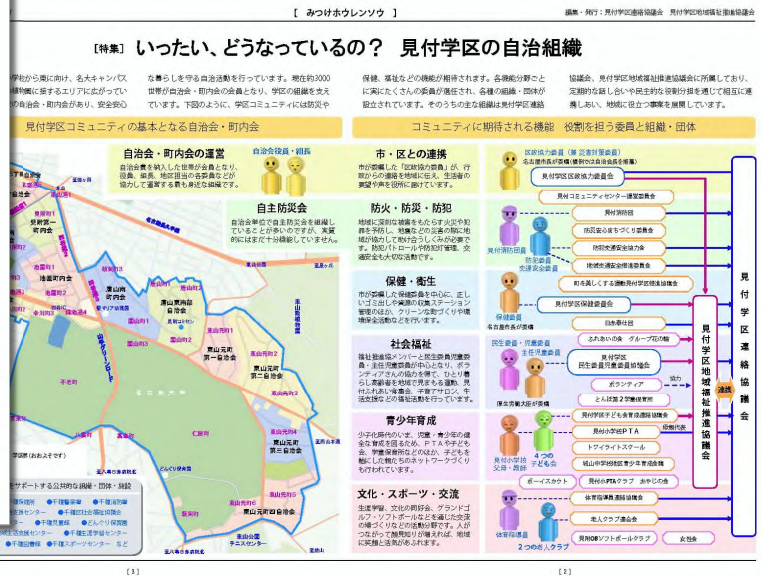
4 「気づき」のきっかけづくり【事例】

学区広報紙「みつけホウレンソウ」

9年前にスタートした「みつけホウレンソウ」



創刊号：学区の基本知識



まず「気づき」のきっかけづくりとして、
見付学区のコミュニケーション活動についてご紹介します。

そのひとつが、学区広報紙の「みつけホウレンソウ」です。
現在、年2回ほど発行しています。

見付では、9年前の新体制スタートと同時に、学区広報誌を発刊しました。
これが創刊号ですが、
それまで誰も知らなかった学区の基本知識を、初めて紹介しました。

みつけホウレンソウPDF閲覧サイト

<http://mitsuke-gakku.jp/horenso.html>



3 「気づき」のきっかけづくり【事例】

学区広報紙「みつけホウレンソウ」

連協や諸団体のイベント・活動を紹介。

第2号 平成23年3月発行

【 みつけホウレンソウ 】

納涼みつけ夏まつり

8月28日(土) 午後3時～6時30分 見付小学校

見つけホウレンソウの下、実行委員・参加団体の皆さんの汗だく活躍により、子どもたちから感謝の方まで、盛況のうちに終了しました。



敬老会

9月10日(日) 午前10時～11時 本山生活文化会館4階

学校にお住まいの75歳以上の高齢者を対象とし、お慶びを申し上げます。お祝いとして「子どもたちから音楽の贈り物」と題してピアノ演奏や遊び歌がプレゼントされ、笑顔のひとときを過ごしました。



成人式

1月10日(月) 午前10時30分～12時30分 見付小学校体育館

華やかな装束や温かいスーツ姿の新成人49人が見付小に集って新しい門出を祝いました。祝賀式典と見付小出身の大矢九十九さんのミニライブのあと祝賀パーティが開催されました。



ふれあい食事会

(本年度3回開催)

ひとり暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯の方をお招きし、ボランティアさん手作りの季節の献立と差し入れを楽しんでいただく昼食会です。



ふれあいサロン

毎月第4木曜日(午後1時30分～3時30分)、見付コミュニティセンターで、高齢者の方とボランティアが一緒に楽しむ「ふれあいの会」です。



ふれあいサロンみつけエンゼル同窓会みつけこ

(本年度5回開催)

ふれあいサロンは、0歳から未就園のお子さんと保護者の方が気軽に在るリビエラセンターに集い、子育ての経験したり、保護者同士で悩みを話し合える交流の場です。またエンゼル同窓会は、エンゼル訪問に伺った2才までのお子さんと保護者の集いです。詳しくは民生委員(民生委員事務局)または主任児童委員にお尋ねください。



震災活動訓練

9月25日(日) 午前10時～11時 見付小学校校庭

見付消防団と千種消防署が連携し、見付小学校校庭において避難訓練、人命救助の講習、消火訓練などを実施しました。続いて子ども会に集った子どもたちが知り、バカッリレーや放水体験の後、消防車を見学させてもらい興味津々の様子でした。なお、平成23年2月27日に自主防災訓練を実施しました。



地域ぐるみの防災協力体制づくりに向けて

地震などの大規模災害時の支援能力を高める事業を、見付学区との間で継続した一環として、「地域防災協力事業所表示証」が市から交付されました。



【2】

【3】

また各号には、学区でいま何が行われているか、
連協や諸団体の活動を写真とともに紹介するページがあります。

4 「気づき」のきっかけづくり【事例】

学区広報紙「みつけホウレンソウ」

学区住民の目線で伝える「特集」。

環境(ゴミ問題)

【特集】 見付のゴミを考える ①
ゴミを捨てるということは・・・

かつて古代人が狩をしながらかつて生活をやめて農耕を始めたときに、ゴミの処理が生まれたそうです。当時は土に埋めたりする簡単な方法で済んでいました。現代のゴミ問題は、資源の枯渇や環境汚染など、ゴミを捨てるという行為がもたらす影響が大きくなっています。見付学区のゴミと資源について、保護委員と見付学区の職員が考えを交わしています。

ゴミは誰のものでしょうか？
 マネーを払ってゴミを捨てた人、つまりゴミの持ち主は誰でしょうか？ 多くの人は「自分」だと思います。しかし、ゴミを捨てるという行為は、社会全体に関与しています。ゴミを捨てるという行為は、社会全体に関与しています。ゴミを捨てるという行為は、社会全体に関与しています。

ゴミ問題の改善、排出責任の負担が...
 「ゴミ問題の改善、排出責任の負担が...」というテーマで、見付学区の職員と保護委員が話し合っています。ゴミ問題の改善、排出責任の負担が...というテーマで、見付学区の職員と保護委員が話し合っています。

取り残されたゴミやリサイクル資源は誰が捨てるべき？
 見付学区では、ゴミの分別収集を行っています。しかし、取り残されたゴミやリサイクル資源は誰が捨てるべきでしょうか？ 見付学区では、ゴミの分別収集を行っています。

地域福祉

【特集】 見付学区の民生委員・児童委員
支援を必要とする人の身近な相談相手です。

民生委員・児童委員は、地域住民の生活や福祉に関与しています。彼らは、地域住民の生活や福祉に関与しています。彼らは、地域住民の生活や福祉に関与しています。

昔とは違う民生委員の役割
 昔の民生委員は、主に生活保護や福祉サービスを提供していました。しかし、現代の民生委員は、地域住民の生活や福祉に関与しています。

見付学区では高齢者支援と児童福祉を重点的に活動
 見付学区では、高齢者支援と児童福祉を重点的に活動しています。彼らは、地域住民の生活や福祉に関与しています。

民生委員・児童委員の役割
 民生委員・児童委員は、地域住民の生活や福祉に関与しています。彼らは、地域住民の生活や福祉に関与しています。

児童・青少年育成

【特集】 今どきの子ども会
「子どものための、子どもたちによる、子どもが楽しむ会」

見付学区には現在4つの子ども会があり、約1,000名の子どもたちが参加しています。子ども会では、子どもたちが楽しく活動し、地域社会に貢献しています。

みつけ子ども会
なげよ子ども会
わんぱく子ども会
東山子ども会

子ども会は現代にこそ必要
 子ども会は、子どもたちが楽しく活動し、地域社会に貢献するための重要な組織です。子ども会では、子どもたちが楽しく活動し、地域社会に貢献しています。

手づくりの自主的な運営をめざして
 子ども会では、手づくりの自主的な運営をめざしています。子ども会では、手づくりの自主的な運営をめざしています。

もうひとつ重視しているのが、特集記事です。

日頃の暮らしやコミュニティのあり方についての「ヒントや気づき」を提供することをめざして、各号で「特集」を組んでいます。

特集記事は、一般知識の羅列で終わらないように気をつけ、ことばだけの教訓や、空疎な物言いを避けるようにしています。そして逆に、常識やあたりまえだと思われることも、住民目線や実感に立ってほんとうにそうなのかを考えるようにしています。

たとえば、日ごろ地域で頭を悩ませているゴミ分別の問題。あるいは地域福祉として民生委員や子育て支援などの情報を提供しました。また、ひと昔前とは変わってきた、子ども会の活動も紹介しました。

4 「気づき」のきっかけづくり【事例】

学区広報紙「みつけホウレンソウ」

学区住民の目線で伝える「特集」。

防犯・交通安全

身近な防災

【緊急特報】千種区で多発する特殊詐欺の最新情報

千種区役所をかたる還付金詐欺が急増！ 千種警察署や銀行を名乗るニセ電話も多発し、既に被害が出ています。

警察署に連絡した人の中には「自分たちは決してかかれない」と勘違いしています。ではなぜ、あなたは、次の手口で詐欺にだまされることがあるのでしょうか？

還付金詐欺の手口とは

「千種区役所です」と電話がかかると、千種区役所職員を名乗る〇〇です。あなたの2年前からの納税額について、1万5千円の還付金がおります。昨日が千種区役所の納税期でした。銀行から申し込めばまだ間に合います。おろしの銀行に振り込ませてください。振り込みの銀行から、還付の申し込みを案内いたします。

「銀行です」と電話がかかると

千種警察署や銀行を名乗る〇〇です。あなたの2年前からの納税額について、1万5千円の還付金がおります。昨日が千種警察署の納税期でした。銀行から申し込めばまだ間に合います。おろしの銀行に振り込ませてください。振り込みの銀行から、還付の申し込みを案内いたします。

ATMに振りかけず、

振り込まれた還付金に振り込まれると、銀行ATMの画面に「振り込まれた還付金に振り込まれる」と表示されます。振り込まれた還付金に振り込まれると、銀行ATMの画面に「振り込まれた還付金に振り込まれる」と表示されます。

【特集】災害避難の最新事情

地震と風水害では避難のしかたや場所が違うってホント？

災害避難の方法が変わった

これまで、被災の危険があるときには、災害の区別なく見付小学校などの「避難所」に避難することになっていました。しかし、東日本大震災で避難所が被災に巻き込まれた。近年の東南海トラフ地震では避難所が被災する恐れがある。避難所が被災する恐れがある。避難所が被災する恐れがある。

新しい「避難ガイド」によると、災害避難は「緊急避難」と「避難」の2段階になります。

緊急避難：大規模な地震による被害や土砂崩れなど、負傷者が出た場合には、避難所から避難することが緊急避難です。この場合は避難所から避難することが緊急避難です。

避難：災害のおそれなくなった後は、避難所から避難することが緊急避難です。この場合は避難所から避難することが緊急避難です。

具体的な避難所は、避難所が被災する恐れがある場合には、避難所から避難することが緊急避難です。この場合は避難所から避難することが緊急避難です。

指定緊急避難場所	指定避難所
見付小学校	〇 2階
見付コミュニティ	〇 〇 〇
名大附属学校	〇 〇 〇
城山中学校	〇 〇 〇
千種スポーツセンター	〇 〇 〇
東山公園・平和公園	〇 〇 〇

大震災の場合は、見付の避難所運営に懸念が。

指定避難所については、避難所が被災する恐れがある場合には、避難所から避難することが緊急避難です。この場合は避難所から避難することが緊急避難です。

大震災の場合は、避難所が被災する恐れがある場合には、避難所から避難することが緊急避難です。この場合は避難所から避難することが緊急避難です。

大震災の場合は、避難所が被災する恐れがある場合には、避難所から避難することが緊急避難です。この場合は避難所から避難することが緊急避難です。

大震災の場合は、避難所が被災する恐れがある場合には、避難所から避難することが緊急避難です。この場合は避難所から避難することが緊急避難です。

防犯や交通安全も重要なテーマです。地域特性を考えた防犯の具体策を紹介して、詐欺にだまされない町、空き巣が入りにくい町をめざしています。

住民の関心事である防災については、多様な角度から取り上げています。たとえばこの号では、学区避難所での生活には未解決の問題も多いことを伝え、できれば避難しなくてもすむ自助の対策を勧めています。

この他にも、よく知られていない消防団の役割や見付小学校の重要性などいろいろな角度から特集を組んでいます。

4 「気づき」のきっかけづくり【事例】

インターネットの活用

見付連協WEBサイト



みつけ防災会WEBサイト



You Tube

印刷物のほかに、インターネットによる広報も重要になってきました。

区政協力委員の担当者が名古屋市のホームページ開設講習を受講し、
連協、学区諸団体から記事資料を集めて、
WEBコンテンツ（ホームページ）の制作を行っています。

ビデオ映像も駆使しており、
例えば夏まつりの盆踊り講習が見られるようにしました。
これらはスマホからも見るができます。

防災会にもホームページがあり、
防災関連の情報やリンク先、学区の防災活動などを紹介しています。

5 幅広い住民参加：誰もが参加したくなる催事【実例】

みつけ夏まつり

みつけ夏まつり

8月第一土曜日。幼児から高齢者まで全世代の来場客が見付小に集まり大盛況。



次は、「子どもから高齢者まで幅広い住民参加」の具体例です。
そのひとつの方法に「誰もが参加したくなる催事」があります。
例として、みつけ夏まつりをご紹介します。

みつけ夏まつりには、幼児から高齢者までの幅広い来場客が、学区外からもたくさん集まります。正確な人数は不明ですが、少なくとも2,000人は超えると推定しています。

見付小の祭り会場では、学区と関わりのある多様な団体による食と遊びの屋台が見付小の運動場を取り巻き、祭りやぐらでは毎年人気の菓子撒きをはじめ、尾張太鼓などの出し物や盆踊りが演じられます。

また区政協力委員によるチケット販売、保健環境委員によるゴミの分別収集、防犯委員のパトロールなど、学区の総力を上げて取り組んでいます。

5 幅広い住民参加：誰もが参加したくなる催事【実例】

みつけ夏まつり

第18回 みつけ夏まつり

見付学区の総力結集

8月3日(土) 見付小学校グラウンド

午後4時15分～8時30分 ■ 雨天時は、午後3時30分から見付小学校体育館で実施します。
■ 最悪悪天候・豪雨・地震予知情報などが発生された場合には中止します。

学区のみんなが模擬店でお待ちしてま～す！

模擬店では現金は扱いません。「おたのしみ券」(紙50円)をお買い求めください。 発売開始：午後4時15分より
(ご注意)「おたのしみ券」が無くても払い戻しはいたしません。あらかじめご了承ください。 使い切れた紙幣をお戻しください。

みつけ屋台グルメ まつりの華は 盆踊り

見付名物カレーライス
ポットトック
焼きそば
串揚げ
かき氷
たません
ぶっかけうどん
フランクフルト
みたらし
焼きとり
タピオカジュース
お茶・ソフトドリンク
缶ビール・チューハイ

氷 夏 衆

菓子まき 10:00 ころ

ゲームであそぼ！

射的 缶つり
宝すくい 輪投げ
おもちゃくし
水ふうせん
ビニール風船
鬼泣かせ
工作コーナー

名大祭実行委員会が特別参加！
ゲーム屋台 フリスビー&カーリング

※模擬店の内容は一部変更される場合があります。

主催：見付学区連絡協議会 企画運営：みつけ夏まつり実行委員会

【共催】 区政協力委員会・民生委員児童委員協議会・保健環境委員会・見付消防団・
子どもお祭り連絡協議会・防犯交通安全協力会・コミセン運営委員会・みつけ防災会・
見付PTA・見付小幼少の会・とんぼ祭り実行委員会・学童保育会・ボーイスカウト・ママスボ

【協賛】 見付学区地域福祉 協賛協議会 中日新聞販売店 コープ本山店 (有)世古電器 増築工事 金銀

駐車場はありません。徒歩か公共交通機関をご利用下さい。

「おたのしみ券つきチラシ」全世帯に配布

5月から拡大連協で計画・準備



運営者、出店者、来場者のいずれもが
幅広い世代にわたり、
誰にも強制されることなく、自分の意思で参加！

夏まつりは、自発的な組織である「夏祭り実行委員」が中心となり、毎年5月から7月に拡大連協を開いて計画し、準備していきます。ここで屋台の配置、売り物のメニューや価格の調整をするほか、運営側の様々な役割分担などを決めていきます。

夏まつりでいちばん注目すべきことは、来場者だけでなく、運営者や出店者までのいずれもが幅広い世代にわたり、しかも誰にも強制されることなく、自分の意思で参加していることです。

誰にとっても楽しく、メリットが享受できる催事こそが、地域コミュニティへの幅広い参加を促進する目玉だと思います。

6 幅広い住民参加：多くの住民が気にかけているテーマ【実例】

みつけ防災会

見付学区の防災を考える会（略称：みつけ防災会）

見付学区の	防災テーマ
誰にでもできる やっただけ減災と ご近助づきあいの まちづくりをめざして。 みつけ防災会	理想的な防災なんてとっても無理。 でも、それであきらめて何もしないのではなく、 どんな小さなことでも、 やればやっただけ被害を減らすことにつながる。 そんな取り組みの姿勢が「やっただけ減災」です。 それも特別の訓練ではなく、日々の生活そのものが 減災になるような暮らし方に少しだけ変えてみる。 そして、お隣近所が顔見知りになって、 いざというとき助け合える「ご近助づきあい」の間柄づくり。 そんな考え方を地域に住むみんなに伝え、 減災力のあるまちづくりを一步一步進めていくことが、 私たちのめざす地域防災の姿です。

幅広い住民参加のもうひとつの具体策として、

「多くの住民が気にかけているテーマ」を取り上げる方法もあります。

例えば「防災」は誰もが不安に思っているテーマです。

防災活動では、有志による任意団体の「見付学区の防災を考える会」、略称「みつけ防災会」が主力となっています。

見付学区の防災テーマは、

「誰にでもできる、やっただけ減災と、ご近助づきあいのまちづくり」
 どんな小さなことでも、やればやっただけ被害を減らせる。それが「やっただけ減災」です。

特別の訓練をして終わるのではなく、日々の生活そのものが減災になるような暮らし方と、隣近所が助け合える「ご近助づきあい」の間柄。

そんなまちづくりを一步一步進めていくことが、私たちのめざす地域減災の姿です。

6 幅広い住民参加：多くの住民が気にかけているテーマ【実例】

みつけ防災会

防災訓練



具体的な活動としては、まず毎年1回の学区防災訓練があります。

これは今年（令和元年11月17日）の訓練内容です。

なかでも重視しているのは、断水などで使えない水洗トイレへの対応策。ビニール袋の中で固める「水を使わない非常用トイレ」の使い方を参加者全員に体験してもらっています。

6 幅広い住民参加：多くの住民が気にかけているテーマ【実例】

みつけ防災会

防災訓練



地区別防災講習



ビニール袋炊飯訓練



育児ママ講習



家具固定講習



トワイライト児童の訓練



高齢者への講習

また、学区の各町内ごとに防災対策を考える地区別防災講習をはじめ、家具固定の講習、育児ママ・トワイライトの児童・高齢者向けの訓練など機会をとらえた訓練を行っています。

6 幅広い住民参加：多くの住民が気にかけているテーマ【実例】

みつけ防災会

HUG講習・DIG講習



防災研修バスツアー



防災ジュニアリーダー育成



減災館(名大)見学会



区政協力委員や団体リーダーなどを対象とする講習では、HUG（避難所運営ゲーム）やDIG図上演習（日本赤十字社提供）を実施しました。

防災・減災への意識を次の世代に受け継いでいくため、子どもたちを巻き込むことも重視しており、「防災ジュニアリーダー育成講習」や夏休みの「名大減災館見学会」など、小学生を対象にした活動を行っています。

真面目一点張りの防災活動ばかりではつまらないと、数年前からは住民交流を組み合わせた防災研修バスツアーを企画しています。

神戸の「人と未来防災センター」をはじめ、京都、静岡の防災センター等を訪問。研修の後にはちょっとした観光を楽しんでいます。

神戸訪問の折には、語り部の方から「子どもからお年寄りまで、すべての年代が参加した団体は少なく、とても良い」とお褒めいただきました。

7 最後に

現代の生活感に根ざす新しいコミュニティは
まだまだ、そのイメージの一端も見えてきません。
これからも
理屈ではなく、実感として住民に必要とされる
地域のつながりを求めて、進んでいきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

以上、見付学区の活動をご紹介しました。

新しい取り組みを始めてから約9年半ですが、コミュニティに対する関心が徐々に高まり、行事などへの参加も増えているように感じます。
何より、コミュニティが「明るく」なってきたことが実感できます。

それでも、
現代の生活感に根ざす新しいコミュニティは、まだまだ、そのイメージの
一端も見えてきません。
これからも、理屈ではなく、実感として住民に必要とされる地域のつなが
りを求めて、進んでいきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。